

欧文報告販売	4,500,000	天文月報調製費	5,500,000
天文月報販売	1,050,000	諸印刷物調製費	2,000,000
諸印刷物販売	1,500,000	送料通信費	2,000,000
印 税	1,000,000	交 通 費	1,000,000
利 息	500,000	定 会 費	300,000
雑 収 入	2,800,000	謝 金	1,500,000
文部省刊行補助金	1,500,000	人 件 費	3,100,000
		物 品 費	200,000
		雑 費	900,000
		予 備 費	8,111,328
計	32,411,328	計	32,411,328

臨時部

収 入		支 出	
前期繰越金	1,231,557	学術交流費	860,000
賛助会費	920,000	研究補助費	84,000
		欧文報告総索引調製費	1,000,000
		予 備 費	207,557
計	2,151,557	計	2,151,557

大塚奨学金

収 入		支 出	
前期繰越金	7,879	奨 学 金	100,000
利 息	104,006	事 務 費	10,000
		予 備 費	1,885
計	111,885	計	111,885

学会だより

秋季年会の開催と講演の申込みについて

今秋の年会は名古屋市千種区不老町名古屋大学経済学部第1講義室で10月19日(水)~21日(金)の3日間開催の予定です。今回の講演発表は、従来通りのシングルセッションで行なわれます。

講演申込みは『〒181 三鷹市大沢 2-21-1 東京天文台内、日本天文学会年会係』あてに封筒の表に「講演申込書在中」と朱筆の上 8月15日(月)までに必着するよう規定の申込用紙を用いてお送り下さい。

申込み用紙は、支部理事にまとめて送ってありますので希望者は返信料 50 円を同封の上、下記の理事へお申し出下さい。

北海道：兼古 昇 〒060 札幌市北八条西 5 丁目
北海道大学理学部物理学教室

水 沢：原 忠 徳 〒023 水沢市星が丘町 2-12
緯度観測所

仙 台：竹 内 峯 〒980 仙台市荒巻字青葉
東北大学理学部天文学教室

東 京：中 桐 正 夫 〒181 三鷹市大沢 2-21-1
東京天文台

名古屋：山下 広 順 〒464 名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部物理学教室

京 都：小 暮 智 一 〒606 京都市左京区北白川追分
町 京都大学理学部宇宙物理学教室

中国・四国：富田 憲 二 〒725 広島県竹原市の場
1294 広島大学理論物理研究所

九 州：上 西 啓 祐 〒860 熊本市黒髪 2-39-1
熊本大学理学部物理学教室

◇講演申込者で、年会出席旅費の補助を希望される方は、支部理事を通じて、8月15日までに「東京天文台内日本天文学会理事長」あてに申し込んで下さい。但し申込みのできる人は、52年度会費まで納入済みの人で、原則として、連名の場合でもスピーカーであり、正式の給与を受けていない人(大学院生など)に限ります。

◇旅館については次頁のリストを参照して、各自で直接申し込んで下さい。

大塚奨学金希望者募集

昭和 52 年度の大塚奨学金を希望される方は、9月30日までに、下記の事項を記載のうえ「〒181 三鷹市大沢 2-21-1 東京天文台内 日本天文学会理事長」あてにお申し込み下さい。

(1) 氏名、生年月日、年令、性別 (2) 現住所 (3) 学歴 (4) 職業 (5) 研究題目 (6) 留学したいと思う機関 (7) 留学を希望する期間と日程 (8) 奨学金の交付希望額(限度 10 万円) (9) これまでの主な研究歴

なお、大塚奨学金は昭和 36 年に大塚寛治氏の寄付金を基金として日本国内の特定の研究機関において天文学およびそれに関連する分野の研究を目的とする短期間の内地留学のための旅費、滞在費を支給することを目的として設けられましたが、去年から奨学金の用途の拡大が認められ、内地留学のための諸経費として使用できるようになりました。この奨学金は設立の趣旨から主としてアマチュアのために活用されおられます。詳細については会員名簿付録の内規を御参照下さい。